

認知症について



精神科 長谷川 雄介

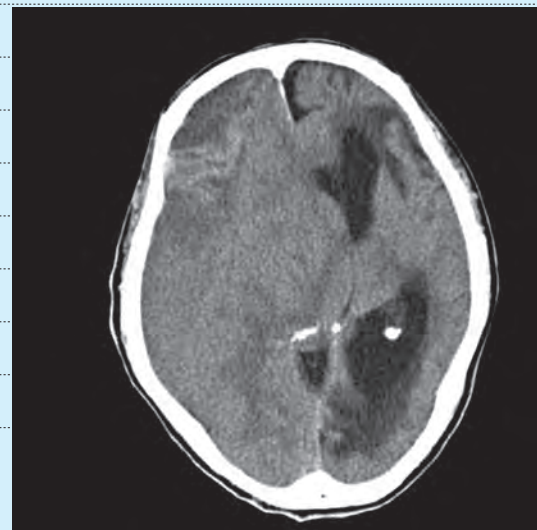


認知症には脳細胞
そのものの減少による
アルツハイマー型認知
症、脳血管障害による

血管性認知症、幻視や筋強剛・振戦といったパーキンソン症状を特徴とするレビー小体型認知症、抑制が利かない行動や失語症などが特徴的な前頭側頭型認知症などがあります。認知症はもはや治らない病気と思われがちですが、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症、正常圧水頭症、栄養障害など、治療可能な認知症もありますので、身体的な精査は必ず必要です。残念ながら多くの認知症は、中核症状である記憶障害(特に最近の記憶)、見当識障害(日付や場所が分からなくなる)、実行能力障害は改善が難しいのですが、周辺症状である精神運動興奮、易怒性、徘徊、夜間せん妄、物盗られ妄想などは対処法を変えたり薬物を調整したりすることにより、改善が認められることがあります。介護が必要になっても一人で抱え込まずに、社会資源を有効に使うことで負担を軽減することができますので、ご相談ください。介護する側の

負担が大きいと、つい怒ってしまったり相手のプライドを傷つけたりしてしまう言動をしがちですが、それがかえって認知症患者を苛立たせたり怒らせたりして悪循環になりますので、介護する側の精神的な余裕が認知症患者を安定させるコツです。

※慢性硬膜下血腫の頭部CT、このような認知症は治療可能です。



富山老人保健福祉圏域地域リハビリテーション 研修会を開催して

当院は、平成17年度から富山県より指定を受け、富山医療圏を管轄とする富山地域リハビリテーション広域支援センターとなりました。中部厚生センターや富山市保健所と連携し、富山市における地域リハビリテーションが益々発展するように、リハビリテーション実施機関へ支援活動を行っています。その活動の一環として、当院では年に2回の富山地域リハビリテーション研修会を開催しており、今年度1回目の研修会を6月13日に開催しました。

今回は『骨粗鬆症の治療と再骨折予防～薬剤師の視点から～』をテーマに、当院の骨粗鬆症マネージャーである萩行正博薬剤師が講演いたしました。院内外より、リハ職種、看護師、ケアマネージャー、介護職など61名の参加がありました。講演では、骨粗鬆症は継続した治療が重要であることや、治療薬にもいろいろな種類があり、それぞれの薬剤の特徴やポリファーマシーについてなど、薬剤師さんの視点ならではの貴重なお話を聞くことができました。

研修会後のアンケートでは「骨粗鬆症は単なる老化現象ではなく、病気であるということを認識した。」「脆弱性骨折では、一度骨折を起こすと、再骨折の危険性が増大したり、骨折部位によっては生命

予後を悪化させたりする場合があります。治療や再骨折の予防の重要性がわかった。」「治療継続の難しさを知り、多職種連携での取り組みの大切さを感じた。」といった感想がありました。講演後も講師のもとには質問をされる参加者が続々と集まるなど、有意義な研修会となりました。

さらに、アンケートでは今後の研修会への要望もありましたので、それらを参考に、地域に貢献できるような研修会を、今後も開催していきたいと考えております。地域のリハビリテーションに携わる皆様のご参加をぜひお待ちしております。

(文責：富山地域リハビリテーション広域センター)



第6回 地域連携医療機関対象

エコーハンズオンセミナー(腹部初級編)

【日時】 令和元年9月15日(日)
14:00~16:30 (途中入室可)

【場所】 当院 3階 301会議室(旧集団指導室)

【内容】

①ミニレクチャー

「とりあえず当ててみよう! 腹部エコー初級編」

今から検査を始める方。実際に検査は行っているが、検査に不安がある方。基本を再確認したい方を対象とし、肝・胆・膵・腎を中心に腹部エコーの基礎のお話をしていきます。

②腹部エコーハンズオン

- ※ハンズオンは原則医師のみを対象とします。
- ※ハンズオンは希望制です。希望される方は事前にお知らせください。(ハンズオンの見学は自由です)
- ※当日要望がありましたら、腹部エコー以外のハンズオンも可能です。

参加をご希望の方、ハンズオンをご希望の方は、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。

ふれあい地域医療センター

TEL 076-422-1112 (代) 内線2103

FAX 076-422-1154 (直)

主催：富山市民病院 臨床検査科

地域医療部 担当者交流会・ 講演会のお知らせ

予告

日時：令和元年12月13日(金)
16:00~19:00

場所：当院 3階 講堂

- 担当者交流会 16:00~17:00
- 講演会 17:30~19:00



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

1. 地域連携症例検討会

日時：9月10日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討(2例)

- ①『主腓管拡張を契機に診断しえた漿膜下微小転移を伴うTS1膀胱癌の1切除例』

外科 竹下 雅樹

- ②『口蓋扁桃摘出術+ステロイドパルス療法を施行した若年IgA腎症の一例』 腎臓内科 政岡 陽裕

(小児科の予定でしたが、腎臓内科に変更になりました。)

2) ミニレクチャー：「パーキンソン病について」

神経内科 柏原 健伸

パーキンソン病は中脳にある黒質のドーパミン神経細胞が障害されることで動作が鈍くなる、手足などが震える、筋肉が強張るといった運動症状が前景となる神経変性疾患です。また、運動症状以外にも起立性低血圧などの自律神経症状、うつ症状、睡眠障害、認知機能低下などの非運動症状も高頻度に合併します。罹患率は10-18人/10万人・年ですが、発症は50歳以上で多く、65歳以上では概ね10倍の罹患率を示します。パーキンソン病を確実に診断できる

検査法は現時点で確立されておらず、診断は臨床症状や画像検査(核医学検査)を用いて行われます。治療は内服が中心となりますが、手術療法がおこなわれることもあります。病気の進行を抑制する治療はなく、対症療法が中心となります。パーキンソン病は高齢での罹患が多くなるため、高齢化人口の増加が続く今後20年程度は患者数が増加するといわれています。2018年に改訂されたガイドラインを踏まえて説明いたします。

予告

日時：10月8日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 2例(整形外科・消化器内科)

②ミニレクチャー (担当) 歯科口腔外科

2. 内科CPC

日時：9月10日(火) 17:30~

場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療委員会学習会

日時：9月10日(火) 17:30~18:15

場所：看護外来

○テーマ：化学療法を受けている人の看護

○講師：がん化学療法看護認定看護師

浜田 真由美

4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：9月19日(木) 17:45~18:30

場所：看護外来

○テーマ：運動療法の具体的な説明って

どうすればいいの？

○講師：理学療法士 下村 歩美

5. 褥瘡対策学習会

日時：9月27日(金) 17:30~18:00

場所：301会議室(旧集団指導室)

○テーマ：褥瘡予防のためのリハビリテーション

○講師：理学療法士 稲生 美紀

6. NST学習会

日時：9月9日(月) 17:30~19:00

場所：講堂

○テーマ：①経腸栄養法について

(消化態・半消化態栄養剤)

②簡易懸濁法、成分栄養剤について

○講師：①管理栄養士 小澤 佳恵

②薬剤師 石原 章奈

7. 感染予防対策学習会

※今月は開催がありません

8. 看護研修

《看護補助者研修》

※①②③とも同じ内容です。申込みの締め切りは9月5日です。また、同時間にかたよった場合は、変更をお願いすることがあります。

日時：9月12日(木) ①13:00~13:50

②14:00~14:50

③15:00~15:50

場所：講堂

内容：一次救命処置の方法(AED使用方法含む)
CAコールの仕方

対象：看護補助者

《衛星研修S-QUE Eナース》

※衛星研修S-QUEシリーズは、予約申込みが必要です。視聴可能日は、月・木(祝日を除く)の14時~16時の間で予約制となっていますので視聴を希望される方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。(TEL076-422-1112代表 内線2989)

①テーマ：看護師のキャリアデザインを考える

視聴期間：9月10日~10月4日

②テーマ：入退院支援最前線

~PFMで病棟と地域を繋ぐ

視聴期間：9月25日~10月21日





院内の専門職員のご紹介

皆さん、健康診断うけていますか？

一般住民に対する年1回の胸部X線による肺がん検診は肺がんによる死亡を30～50%減少させることが科学的に証明されています。しかし一方で、この胸部X線による肺がん検診では早期肺がんの発見に限界があることもわかっています。そこで日本では低線量CTによる肺がん健診が試験的に始められ、「肺がんの発見率がきわめて高いこと、それらの多くが早期肺がんであること」が報告され、低線量による肺がんCT検診は急速に普及してきています。

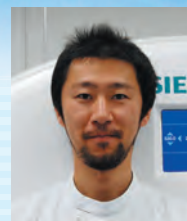
一方2006年に公表された「有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン」によれば、CT検診は「現時点では死亡率減少効果の有無を判定する証拠が不十分であり、対策型検診として実施する事は勧められない」と評価しました。

しかし、CT検診発見肺がんの予後はきわめて良好で、日本では任意型検診としてCT検診が急速に普及しつつあります。ここで懸念されるのは低線量肺がんCT検診もいたずらに広まれば広まるほどその精度が低下することであり、CT検診の精度管理がしっかりとされなければなりません。

肺がんCT検診認定技師は通常診療で行われるCTとは違い、低線量CTによる肺がん検診の撮影条件を装置毎に設定し、撮影された画像を放射線技師が1次チェックすることで低線量肺がんCT検診での早期がん発見に努めています。安全で安心な肺がんCT検診を提供できるように日々努力していきますので、よろしく願いいたします。

特定非営利活動法人
肺がんCT検診認定機構
肺がんCT検診認定

中央放射線部 堀 良太郎



医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

9月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	清川	9日	精神科	長谷川雄	25日、27日
	清水	25日、26日、27日		西田	10日
	茶谷	4日	皮膚科	野村	17日、25日
	並木	13日		北野	6日、9日、10日、11日、12日
	南川	24日	泌尿器科	児玉	17日、18日
外科・消化器外科・乳腺外科	吉川	2日、3日、4日、5日	産婦人科	三輪	24日、25日
	竹下	2日		齋藤真	10日、11日、12日、13日、17日
脳神経外科	山野	6日、10日		長谷川徹	2日
整形外科・関節再建外科	澤口	6日、20日、27日	大田悟	11日、12日、17日	
	五嶋	17日	古田	26日	
	重本	2日、13日、27日、30日	小児科	平井	24日、25日、26日
	岩井	17日、19日、24日、26日	眼科	山田	12日、13日、30日
片岡	2日、6日、20日	狩野		6日、20日、24日、25日	
呼吸器・血管外科	瀬川	9日～13日、17日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	9日
	湖東	26日		阿河	2日、6日、26日
	土岐	24日～26日	寺島	20日	
麻酔科	榎本	13日	歯科口腔外科	吉田	26日、27日

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

残暑はまだ厳しいですが、蝉の鳴き声が変わり季節は秋へと近づいているのを感じます。この夏私は、パスポートを取得しました。えっ、今さらと思われるかと思いますが、今まではせっかく日本に住んでいるのだからと国内旅行にこだわっていました。今春ロシアへ留学した次男に夫が韓国まで付き添うことになり先にパスポートを取得しました。夫の初めての海外旅行の話や息子から送られてくる写真がとても刺激的で「行ってみたい」と強く思ったこときっかけとなり、遅れて自分も取得することになりました。近いうちに行きやすい国に旅しようかと夫と話をしています。

小さなチャレンジではありますが、いつもと違った選択をすることや動作などは脳の活性化にすごくいいと聞いたことがあります。小さなチャレンジを継続し心身共に健康に仕事していきたいと思う今日この頃です。

ふれあい地域医療センター 石崎 華代



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp